



夏休みの児童クラブ 定員オーバーへの対策を

吉川 三津子 議員

空き教室利用の協力を 学校に求めている

教育長

	定員	平常利用者	長期休暇利用者
佐屋1	40	52	93★
佐屋2	40	64	90★
佐屋(民設)	40	46	48
佐屋西	40	38	71
市江	40	28	55
永和	40	53	93★
立田南部	40	52	60
立田北部	40	25	38
開治	25	22	27
八輪	25	19	27
勝幡	30	35	62★
草平	40	74	100★
草平(民設)	25	9	18
北河田	40	54	93★
北河田(民設)	15	13	22
西川端	40	54	88★

太字=定員オーバー ★=2倍以上の定員オーバー

▲児童クラブ受け入れ状況

定員2倍以上の児童を受け入れる児童クラブが半数以上(上表)。これでは、夏休みなど一般来館の子どもの遊び場としての児童館の役割が果たせない。対策は、**子育て部長** 夏期休暇中の登録児童が多い。平成28年度は876名、29年は897名と21名増だ。民間児童クラブの協力を得て、受入数の確保を図る。

学校によっては、放課後子ども教室に使っていた部屋があるはずだ。夏

休みから児童クラブに利用できないか。

教育長 学校との調整は必要だが、長期休暇中であれば利用は可能だ。現に女性の社会進出に

影響がでている。他の学校へも、空き教室利用の協力を求めるべきでは。

教育長 どの学校のどこを利用するかを含め、児童福祉課と調整していく。

子どもの貧困対策を

子どもの貧困対策への必要性について、市としての認識は。

子育て部長 生まれた環境に左右され、貧困が連鎖することがないように、環境整備、教育の機会均

等を図ることが必要だ。

ひとり親世帯の54.6%が相対的貧困といわれている。母子世帯で、男性から養育費を受け取っているのは2割以下だ。母子世帯への支援が、

子どもの貧困問題の半分近くを解決する。

東郷町は、高校・大学の授業料給付制度を始める。ファミリー・サポート・センター利用料支援などの考えは。

子育て部長 児童クラブ利用料減免・免除、自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金等を予算で増額したが、29年度設置の子育て世代包括支援センター運営委員会を取り上げる。



▲児童クラブ風景